

5 保育福祉科 昼間コース 2年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	日本国憲法		2
	児童文学	2(c)	2(a b)
	情報機器の操作	2	
保育士養成課程 必 修 科 目	相談援助	1	
	保育者論	2	
	家庭支援論		2
	保育内容演習・健康	1	
	保育内容演習・人間関係	1	
	保育内容演習・環境	1	
	保育内容演習・言葉	1	
	保育内容演習・表現	1	
	障害児保育		2
	保育相談支援	1(b)	1(a c)
	保育実践演習	2	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	教育史		2
	保育臨床心理学		2
	子どもの食と栄養実習	1	
	保育あそび論	2(c)	2(a b)
	絵画造形技法		1
	保育表現技術・言葉	1(a)	1(b c)
	保育表現技術・幼児体育Ⅱ		1
	保育表現技術・ピアノⅢ	1	
	保育表現技術・声楽		1
保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1		
実 習	キャリアデザイン		1
	クラスルームⅡ		1
	保育実習Ⅰ-1		2
実 習	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
合 計 単 位 数		16(a) 16(b) 19(c)	28(a) 28(b) 25(c)
		44	

科 目	英語コミュニケーション	講 師	玉置 充佳
授業目標	英語の歌を覚えて、それをアレンジして児童に教えるようにします。 英語の歌は毎回新しい曲を覚えます。 基本的な英会話と作文が出来るように練習します。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で自己紹介 2. 天気、色 3. 月と曜日 4. 食べもの 5. ABCフォニックス 小テスト 6. 右左 7. 形 8. ハロウィン 9. イースター 小テスト 10. バレンタイン 11. 絵本と歌 12. 絵本と歌 13. 小テスト 14. 発表の練習 15. グループ発表 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業での参加、小テスト3回、グループ発表		

科 目	日本国憲法	講 師	中里 満理子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高法規としての憲法のなりたちを知る。 ・ 近代立憲主義の枠組みを理解する。 ・ 論理的記述力を養う。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 憲法の構造 3. 立憲主義 4. 権力分立 5. 国民主権 6. 人権の種類と主体 7. 人権の限界と効力 8. 包括的基本権 9. 精神的自由 10. 経済的自由 11. 身体的自由と手続保障 12. 社会権 13. 統治機構 14. 天皇制 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……『憲法』 芦部信喜著、岩波書店		
評 価 の 方 法	出席、ミニテストおよび期末試験による総合評価（初回に説明）		

科 目	児童文学	講 師	川北 亮司
授業目標	*ことばについての理解を深める。 *絵本や童話を学ぶ。 *幼児・幼年向けの作品を知る。 *手づくり絵本を制作する。		
授 業 の 画 計	1. 授業内容と進行の説明 2. 子どもと児童文学 3. いろいろな絵本 4. 手づくり絵本の制作(1) 手づくり絵本とは 5. 絵本の構造(1) 名称など 6. 手づくり絵本の制作(2) コピー用紙でダミー作り 7. 絵本の構造(2) 中身について 8. 手づくり絵本の制作(3) 画用紙に描く 9. 絵本の構造(3) 表紙の厚紙とカバー、見返し 10. 手づくり絵本の制作(4) 画用紙に描く 11. 手づくり絵本の制作(5) 画用紙に描く 12. 手づくり絵本の制作(6) 製本 13. 手づくり絵本の制作(7) 製本 14. 手づくり絵本の発表会 (リブリオ・バトル) 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合評価		

科 目	児童文学	講 師	横山 雅代
授業目標	・絵本、紙しばい、児童文学の特性を知り、子どもの発達と文化の関係を理解する。 ・子どもの発達段階に合わせた表現、好奇心を大事にする表現を理解する。 ・絵本や紙しばいの制作を通して、子どもの文化への理解を深める。 ・読み合い、対話する中で、コミュニケーション能力を高める。		
授 業 の 画 計	1. 授業内容のガイダンス 2. 絵本と紙しばいと児童文学の相違 3. 絵本と子どもの発達① (主に0～2歳児の絵本) 4. 絵本と子どもの発達② (主に3～6歳児の絵本) 5. 絵本と子どもの興味① (自然、季節、食べ物等) 6. 絵本と子どもの興味② (家族、人間関係、自己肯定感等) 7. 紙しばいと子どもの発達 8. 紙しばいと子どもの興味 9. 絵本、紙しばい～児童文学へ 10. 制作へ向けてのオリエンテーション (絵本、紙しばい、幼年童話から選択) 11. 実作指導① 12. 実作指導② 13. 制作発表① 14. 制作発表② 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……特になし		
評 価 の 方 法	総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	酒井 澄
授業目標	<p>幼児教育者が持つべき情報の基礎知識を得る。 情報機器を使う教育の利点と問題点を知る。 基礎的な情報機器の活用法を学び考える。 教育現場でも作成可能なコンピュータによる「動くオリジナルストーリー映像」を作りこれを指導できる能力や創作力を養う。これらを、受け身ではなく自発的に協力し合いながら行う。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ●パソコンの基本操作① 2. ●パソコンの基本操作② 3. *教育現場での撮影編集の方法 4. ●情報の基礎知識（インターネットなど）① 5. ●情報の基礎知識（インターネットなど）② 6. ●情報の基礎知識（インターネットなど）③ 7. ★試験（設題2問）資料持ち込み不可 8. ■動画制作① 9. ■動画制作②（班ごとに物語を考え発表し、一番支持を得たものの映像をパソコンを使い全員で制作する。脚本・絵コンテ・色指定・キャラクター作画・スキャン・色塗り・背景作画・キャラクターの切り抜き・アフレコ台本作り・録音・音楽効果音作り・編集 上記作業を分担し、協力しあい効率よく完成させる。） 10. ■動画制作③ 11. ■動画制作④ 12. ■動画制作⑤ 13. ■動画制作⑥ 14. ■動画制作⑦ 15. ■動画制作⑧ 完成試写 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……なし 参考書……なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>教科の理解度、受講態度を評価するが、映像制作時の協調性・積極性にも重点を置く。 欠席、遅刻も評価対象となる。</p>		

科 目	相談援助	講 師	今泉 岳雄
授業目標	<p>保育者は、子どもの保育だけでなく、子育てや様々な生活課題に悩む家族をソーシャルワークの視点から援助することが今日求められている。ここでは、援助の基礎となる課題のアセスメント、専門機関との連携、相談援助の技術、援助者としての自分についての理解の仕方などについて学ぶ。また、保育所以外の児童福祉施設における課題や相談援助の在り方を知る。授業方法は、講義以外にロールプレイ・ディスカッション・事例検討など、演習を取り入れ、体験的に理解することを重視する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の子ども・子育て家庭の問題と相談援助 2. 相談援助者となるための自己覚知① 3. 相談援助者となるための自己覚知② 4. 相談援助に必要な知識と技術①（アセスメント・エコマップ・社会的資源の活用） 5. 相談援助に必要な知識と技術②（傾聴・あいづち・共感・プロンプト） 6. 相談援助に必要な知識と技術③（解決への方向付け） 7. 相談援助に必要な知識と技術④（記録・援助計画・専門機関との連携） 8. 相談援助に必要な知識と技術⑤（相談援助の過程・保育者の特性を生かした相談援助） 9. 児童虐待への対応と事例 10. 発達障害への対応と事例 11. 子どもの発達と心理的問題の対応と事例 12. 保護者の抱える育児・生活・心理的課題への対応と事例 13. 保育所以外の児童福祉施設における課題と相談援助 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 資料配布 参考書……『演習・保育と相談援助』みらい</p>		
評 価 の 方 法	<p>試験・受講態度・出席状況により総合評価</p>		

科 目	保育者論	講 師	平岩 由美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の制度的に位置づけられた役割・職務を自覚する ・保育者の専門性について考察し、理解する ・保育者の協働について理解する ・保育者の専門職的成長について理解する ・保育者に求められる倫理・責任について学び、自己を振り返りながら保育者として成長しようとする姿勢や使命感を持って保育をしようとする態度を養う 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育者の仕事における〈見えやすい専門性〉と〈見えにくい専門性〉 3. 保育者の倫理観 保育者が醸し出す〈倫理的雰囲気〉と子どもへの影響 4. 保育者の専門性① 養護と教育を一体的に行う保育 5. 保育者の専門性② 子どもの思いや育ちを理解して援助する役割 6. 保育者の専門性③ 保育記録と省察の意味 7. 保育者の専門性④ 映像教材による保育の省察 8. 保育者の専門性⑤ 豊かで主体的な子どもの生活を創り出す環境を構成する役割 9. 保育者の専門性⑥ 保育技術体験演習 10. 保育者の協働① グループワーク演習発表 11. 保育者の協働② 子育てのパートナーとしての役割 12. 保育者の協働③ 保育者同士の保育カンファレンスによる学び合い 13. 保育者の専門職的成長① 保育者の専門性を向上させるために（自己課題研究準備） 14. 保育者の専門職的成長② 自己課題研究発表 15. 保育者の専門職的成長③ 自己課題研究発表 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『新しい保育講座2 保育者論』汐見稔幸・大豆生田啓友編 ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』 参考書 ……特に指定なし 毎回プリントを配布		
評 価 の 方 法	出席状況・受講態度（個人・グループワーク）・課題提出・発表・テスト等による総合評価		

科 目	家庭支援論	講 師	前川 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が家庭支援を担う意義と役割について理解する。 ・現代の子育て家庭について理解する。 ・支援の必要な家庭を理解し、その支援を考える。 ・児童福祉施設における家庭支援について理解する。 ・家庭支援に関わる関係機関を学び、保育者の関わり方を考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能 家庭支援の必要性 2. 家庭支援の必要性 子どもが育つ場としての家庭 3. 保育者が行う家庭の原理 4. 現代家族の人間関係と子育て 5. 現代の地域社会変容と家庭支援 6. 男女共同参画社会とワークライフバランス 7. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 8. 子育て支援サービスの概要 9. 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 10. 家庭と保育者の連携とパートナーシップ 11. 地域の関係機関との協働と連携 12. 保育所入所児童の家庭への支援 13. 地域の子育て支援家庭への支援 14. 特別な対応を要する家庭への支援 15. 総まとめ 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『実践 家庭支援論 第3版』松本園子他（著）ななみ書房 2017.1 参考書 ……コンパクト版保育者養成シリーズ『家庭支援論』谷田貝公昭（監修）一藝社 2018.2		
評 価 の 方 法	出席・レポート・平常点（50%）＋試験（50%）による総合評価		

科 目	保育内容演習・健康	講 師	平塚 卓也
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容・領域「健康」のねらいと内容について理解する。 ・乳幼児期の発達と健康について理解する。 ・保育者として領域「健康」の指導方法について学び、実践を意識し、考える。 ・領域「健康」と他領域及び小学校教育とのつながりを理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの健康とは 3. 領域「健康」のねらいと内容① 4. 領域「健康」のねらいと内容② 5. 乳幼児期の発育・発達 6. 乳幼児期の生活習慣 7. 乳幼児期の安全 8. 乳幼児期の運動発達 9. 領域「健康」の指導における保育者の役割 10. 生活習慣に関わる指導 11. 食育に関わる指導 12. 安全教育・救急対応 13. 運動遊びに関わる指導 14. 領域「健康」の指導の計画・評価 15. 領域「健康」と小学校教育の接続 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……吉田伊津美ほか編（2018）保育内容 健康、乳幼児教育・保育シリーズ、光生館。		
評 価 の 方 法	出席、受講態度、小テスト、レポートによって総合的に評価する。		

科 目	保育内容演習・人間関係	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、その「ねらい」を達成するための保育者の具体的な援助について学ぶ。 ・乳幼児期の自己の発達、他者との関係の発達を理解する。 ・様々な事例を考察し、子どもの心に寄り添う保育者としての役割等について理解する。 ・保育を取り巻く人間関係（保護者との人間関係、保育者同士の人間関係、小学校との連携）について理解を深める。 ※実践的授業を目指しますので、積極的に取り組んで下さい。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（講義の概要とねらい） 2. 領域「人間関係」の基礎知識 3. 人とのかかわりを培う保育の基本 4. コミュニケーションゲーム① 5. 乳幼児期の発達段階① 6. 乳幼児期の発達段階② 7. 育ちに応じたかかわりと援助① 8. 育ちに応じたかかわりと援助② 9. 育ちに応じたかかわりと援助③ 10. 気になる子どもの人間関係づくりと援助① 11. 気になる子どもの人間関係づくりと援助② 12. コミュニケーションゲーム② 13. 保護者との関係づくりと地域との連携 14. 職場の人間関係・保育者同士の人間関係 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・人間関係	講 師	齋藤 三喜子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」におけるねらいと内容を理解し保育者の役割を学ぶ。 ・人間関係における乳幼児期の個々の発達、他児との関係の発達を理解する。 ・様々な事例を考察し保育者として子どもの心に寄り添う保育を学ぶ。 ・保育を取り巻く人間関係について実践を踏まえ理解を深める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 授業のねらいと進め方 2. 領域「人間関係」のねらいと内容について 3. 人とのかかわりを培う保育の基本 4. コミュニケーションゲーム 5. 乳児期における人間関係（0歳児から2歳児） 6. 乳児期の人間関係における保育者の援助と役割（0歳児から2歳児）…G.W① 7. 乳児期の人間関係における保育者の援助と役割（0歳児から2歳児）…G.W② 8. 幼児期における人間関係（3歳児から5歳児） 9. 幼児期の人間関係における保育者の援助と役割（3歳児から5歳児）…G.W① 10. 幼児期の人間関係における保育者の援助と役割（3歳児から5歳児）…G.W② 11. コミュニケーションゲーム 12. 気になる子どもの人間関係作りと援助 13. 講師を招いての講義 14. 乳幼児期の人間関係における今日的課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……【新版】保育内容『人間関係』神蔵幸子・桃枝智子著 大学図書出版 参考書 ……『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』		
評 価 の 法	出席状況、授業態度、課題の提出、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・環境	講 師	大西 明実
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」のねらいと内容を知り、乳幼児期における環境を通した保育について理解をする。 ・子どもを取り巻く環境の重要性について理解し、保育現場における実践方法を習得する。 ・自身の身近な自然環境や社会環境における生活や遊びを振り返ると共に、今日的保育環境の在り方について体験を通して考察し実践に繋げる。 ・様々な事例を考察し、子どもの主体性を引き出す環境構成の工夫や保育者の役割等について理解する。 ※戸外での身近な自然体験や栽培実践を通し、自らが体験して感じることでできる授業展開を目指します。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもにとっての環境とは何か ～発達に即した好奇心が高まる魅力ある環境～ 3. 子どもと社会環境①：身近な環境を感じよう ～散歩を通して～ 4. 子どもと自然環境①：子どもにとっての身近な自然とは 5. 子どもと物的環境①：生活や遊びを豊かにする環境① 6. 子どもと人的環境①：保育者の役割① 7. 子どもと社会環境②：散歩マップ発表会〈散歩マップ提出〉 8. 子どもと自然環境②：多様な遊びが作り出せる環境 9. 子どもと物的環境②：生活や遊びを豊かにする環境② 10. 子どもと人的環境②：子どもにとっての友だちの意味 11. 子どもと自然環境③：自然事象への関心を持つ環境～季節の変化と年中行事～ 12. 子どもの人的環境③：保育者の役割② 13. 子どもを守る安全な環境 14. 課題レポート発表と議論 15. 授業のまとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……指定なし		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、発表、レポート課題等による総合評価		

科 目	保育内容演習・環境	講 師	加藤 直子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」のねらいと内容を理解する ・幼児教育における環境の重要性を理解する ・保育者の環境構成に対する考え方を理解する ・事例を用いて、保育現場における実践方法を習得する ・身近な自然環境や社会環境を振り返り、環境を通した教育について深く考察する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 幼稚園教育要領、保育者保育指針における領域「環境」とは 3. 子どもを取り巻く環境① 4. 子どもを取り巻く環境② 5. 子どもを取り巻く環境③ 6. 子どもを取り巻く環境④ 7. 子どもを取り巻く環境⑤ 8. 身近な自然、社会環境について考える① 9. 身近な自然、社会環境について考える②（グループワーク） 10. 身近な自然、社会環境について考える③（グループワーク） 11. 自然を生かした保育とは 12. 保育現場における環境構成（事例から学ぶ）① 13. 保育現場における環境構成（事例から学ぶ）② 14. 現代の保育課題と環境 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『新訂 事例で学ぶ保育内容〈領域〉環境』 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、発表、レポート課題等による総合評価		

科 目	保育内容演習・言葉	講 師	村山 久美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の言葉の発達を理解する。 ・子どもの身近な存在のおとながどのような言葉掛けをしているか、具体例を用いながら人的環境の大切さを理解する。 ・児童文化財と子どもの成長とのかかわりを理解する。 ・領域「言葉」のねらい、内容を理解する。 ・実践を通し、言語教材の 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 授業の進め方、言葉とは何か 2. 言葉の発達①（0～6歳） 3. 言葉の発達②（言葉の遅れとは） 4. 身近なおとなとのかかわり、保育者の言葉の在り方 5. 児童文化財とのかかわり 6. 保幼小の接続に向けての言葉 7. 言語表現実技演習（絵本、紙芝居） 8. 言語表現実技演習（パネルシアター、素話） 9. 言葉あそび（模擬保育） 10. 現代の言葉をめぐる問題 11. 言語教材の制作① 12. 言語教材の制作② 13. 言語教材の発表 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし、授業内でプリントを配布します。 参考書 ……『保育所保育指針』、『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育保育要領』		
評 価 の 法	出席、授業態度、課題、試験等により評価する。		

科 目	保育内容演習・表現	講 師	竹田 えり
授業目標	色々な手遊び・歌遊び・リズム遊びなどを通して子どもの表現の育ちと保育者の役割について学びます。 ひとつの遊びから様々な応用を考え表現の幅を広げていきます。 絵本の読み聞かせの際の演技のバリエーションなどや、劇あそびなどまで発展させて考えていきます。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 色々な手遊び・歌遊び(1) 3. 色々な手遊び・歌遊び(2) 4. 色々な手遊び・歌遊び(3) 5. 色々な手遊び・歌遊び(4) 6. 色々な手遊び・歌遊び(5) 7. 読み聞かせ 表現方法 朗読のバリエーション 8. タオル遊び 9. パネルシアターなど 10. 劇遊び・オペレッタ 11. グループワーク(1) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う 手遊び復習 12. グループワーク(2) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う 手遊び復習 13. グループワーク(3) 様々な表現を織り交ぜた創作を行う 手遊び復習 14. 実技試験 15. 振り返り・総括・卒業ソングなど		
教科書 及び 参考書	教科書……『あつまれハート』メイト 参考書……CD『ハートキラキラ』『ハートハッピー』『ふれあいタオルあそび』メイト (参考書CDはすべて図書室にあります)		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、実技試験による総合評価		

科 目	保育内容演習・表現	講 師	中山 佳寿子
授業目標	領域「表現」は「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現することを養い、創造性を豊かにする」ことを目指すものである。「創造性」について理解を深めた上で、子どもの発達に即した遊びや活動を実際に体験しながら、保育者として必要な表現力を養う。絵本・昔話をもとにしたごっこ遊びや劇あそびの展開の方法を学ぶ。さらに、即興的な身体表現やおはなし作り遊び、歌遊びなど、子どもの自主性・感受性・表現を豊かに引き出すための活動の指導案を作成し、模擬保育を行なうことにより、保育を構想し実践する力を養う。		
授 業 の 画	1. 授業のねらい／領域「表現」とは何か 活動：「自己紹介で遊ぼう」 2. 創造性とは何か 活動：「連想ゲームとしりとりで遊ぼう」 3. ごっこ遊びと劇遊び 活動：「まねっこで遊ぼう」「おはなしリレーで遊ぼう」 4. 領域「表現」と発表会のあり方 活動：「替え歌遊びで自己紹介」 5. 昔話を出発点にした「ごっこ遊び」① 活動：「想像の世界で遊ぼう」 6. 絵本を出発点にしたごっこ遊びの方法 活動：「オリジナルの場面を想像して演じてみよう」 7. 絵本を出発点にしたごっこ遊び① 活動の考案 8. 絵本を出発点にしたごっこ遊び② 模擬保育とディスカッション 9. ごっこ遊びと音楽 活動：「リズムで遊ぼう」「鍵盤や打楽器を使って簡単な音楽を作ろう」 10. ごっこ遊びをもとにした発表会の上演作品 活動：「脚本を書いてみよう」 11. 造形活動と発表会の舞台美術～子どもの造形作品を取り入れた舞台美術～ 活動：「舞台美術を描いてみよう」 12. ごっこ遊びと劇遊び～指導計画の考案～ 13. 上演作品の創作①～身体表現・替え歌・効果音などを取り入れた場面作り～ 14. 上演作品の創作②～身体表現・替え歌・効果音などを取り入れた場面作り～ 15. 実技試験（上演作品を仕上げ、互いに発表しあう）		
教科書 及び 参考書	教科書……なし（授業時必要に応じてプリントを配布） ※授業には動きやすい服装・靴で参加すること 参考書……『保育所保育指針』、『幼稚園教育要領』		
評 価 の 方 法	活動・発表・ディスカッション（積極性及び内容）、ノート・レポート、実技試験、出席状況による総合評価		

科 目	障害児保育	講 師	今泉 岳雄
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児保育を支える理念を理解する ・ 障害の理解と保育所における発達の支援を学ぶ ・ 障害児を抱える保護者の心理を理解し支援の在り方を考える ・ 職員間や関係機関との連携について学ぶ 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の捉え方と障害児保育の理念 2. 障害の理解と保育所における発達支援 ①肢体不自由 3. 障害の理解と保育所における発達支援 ②知的障害 4. 障害の理解と保育所における発達支援 ③発達障害 5. 障害の理解と保育所における発達支援 ④その他の障害 6. 障害を発達の視点から理解する アセスメント・記録・個別指導計画 7. 発達を促す生活と遊びの環境 8. 友達・保育者・保護者との関わりと育ち 9. 保護者や家族に対する理解と支援 10. 職員・専門機関との連携 11. 小学校との連携 12. 保健・医療における現状と課題 13. 福祉・教育における現状と課題 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『障害児保育…子どもとともに成長する保育者を目指して…』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況により総合評価		

科 目	保育相談支援	講 師	平岩 由美子
授業目標	<p>子どもたちの望ましい発達のためには、保育者は「子どもたちとのかかわり」だけでなく、子どもたちが家庭生活を共にする「保護者への支援」も重要であり、その必要性が増している現状がある。本授業では、保育相談の意義と原則を学び、保護者に寄り添った支援を行うための基礎を理解すると共に、具体的事例を通して、その援助の方法を考える。また、ロールプレイを取り入れ、応答方法、相談面接の方法など理論に基づいた実際の援助方法を体験することで、更に理解を深め、技術の習得を目指す。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育相談支援とは 3. 保育の特性と保育者の専門性を活かした保護者支援 4. 子どもの成長の喜びを共有する支援 5. 保護者の養育力向上のための支援 6. 信頼関係を基本とした支援のあり方 7. 地域資源の活用と関係諸機関との連携・協力 8. 保育相談支援の方法と技術 9. 保育相談支援における留意点 10. 保育相談支援の実際～ビデオ視聴を通して支援を考える 11. 保育相談支援の事例の検討① 12. 保育相談支援の事例の検討② 13. 保育相談支援の記録と評価の方法 14. 保育相談支援の事例の検討③ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『演習 保育相談支援』小林育子著 萌文書林 参考書 ……特に指定なし 毎回プリントを配布		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・レポート提出・発表・出席状況による総合評価		

科 目	保育実践演習	講 師	井上 恵里・東郷 結香
授業目標	・保育に関する様々な物事に目を向け、幅広い視野を持って主体的に関わる姿勢を養う。 ・興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を行う。 ・他者に根拠を示し明確に考えを伝える力を身に付けると同時に、ディスカッションを通し、他者の意見を取り入れながら問題を解決していく方法を体験的に学ぶ。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション～保育実践演習の進め方～ 2. テーマの設定①～関心を明確にする～ 3. テーマの設定②～テーマを決める・関心の深め方～ 4. 研究のスタイル～調査・分析・考察の方法～ 5. 中間発表に向けての個別指導 6. 中間発表に向けてのレジュメの作成 7. 中間報告及びディスカッション① 8. 中間報告及びディスカッション② 9. 中間発表を踏まえ、発表に向けた課題の点検 10. 発表に向けての個別指導 11. レジュメ作成及び発表準備 12. 発表① 13. 発表② 14. 発表③ 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、中間発表、総合発表、ディスカッション等による総合評価		

科 目	教育史	講 師	相田 まり
授業目標	・過去の教育思想をその社会背景と併せて理解することで、今日の教育がいかにしてつくり上げられてきたのか、そこにはどのような課題があるのかを把握する。 ・授業の中で得た知識や考え方をもとに、日々の保育・教育実践について自分なりに考察できるようになる。		
授 業 の 画	1. イントロダクション：なぜ教育史を学ぶのか 2. 古代ギリシア：哲学的伝統の確立 3. 近代の幕開けと「子ども」の発見：コメニウス、ルソー 4. 自己形成の援助としての教育：ペスタロッチとフレーベル 5. 近代学校の成立：学校に通うということ 6. 新教育運動：子ども中心主義 7. 戦時下の教育：国民学校と総力戦体制 8. 日本の戦後教育①：民主化への歩みと「社会科」の誕生 9. 日本の戦後教育②：高度経済成長と「学力」低下問題 10. 現代の教育①：グローバル社会における教育 11. 現代の教育②：インクルーシブな社会を目指して 12. 現代の教育③：生涯学習社会 13. 現代の教育④：「道徳」の教科化 14. 現代の教育⑤：正解のない問いと向き合う 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……適宜指示する		
評 価 の 方 法	出席状況、コメントシート、試験を踏まえて総合的に評価する。		

科 目	教育史	講 師	小澤 由理
授業目標	1. 教育の歴史を社会的な背景ともに理解し、現代へとつながる大まかな流れを把握する。 2. さまざまな幼児教育の思想と教育実践の歴史を知ること、今日の教育や保育の現場にどのように継承されているのかを理解する。 3. 授業の中で得た知識や考え方をもとに、日々の保育・教育実践について自分なりに考察し、より深い理解を得る。		
授 業 の 画 計	1. イントロダクション：なぜ教育の思想とその歴史を学ぶのか 2. 古代ギリシアから中世ヨーロッパの教育：対話法、都市と教育、キリスト教 3. ルネサンス期から宗教改革の教育：近代の幕開け、人間中心主義、学校の普及 4. ヨーロッパにおける近代的孩子観の登場：コメニウス、ロック、ルソー 5. 近代の幼児教育のはじまり：ロバート・オーウェン、ペスタロッチ 6. フレーベルの幼児教育思想と実践 7. 近代公教育の成立と発展：ナショナリズム・公教育の普及 8. 世界新教育運動：子ども中心主義 9. モンテッソーリの幼児教育思想と実践 10. 日本の幼児教育の思想と実践：①倉橋惣三 11. 日本の幼児教育の思想と実践：②城戸幡太郎 12. 戦時下での教育：戦時託児所、平和と母性、子どもの権利思想 13. 戦後における日本の教育：教育基本法、民主化への歩み 14. 戦後における日本の幼児教育：幼保一元化に向けて 15. まとめ—近代的孩子観の台頭・幼児教育の発展		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……適宜、指示する。		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート提出を踏まえて総合的に判断する。		

科 目	保育臨床心理学	講 師	神谷 路子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の健全な発達について学ぶ ・保育現場で起こる様々な事態を想定し、どのように対応していくか検討していく ・子どもや保護者への適切な対応について、自ら考えながら学んでいく ・子どもが健全に育つために必要なことは何かを考えていく ・学んだことを生かして、どのように自らを成長させていくかを考えていく 		
授 業 の 画 計	1. ガイダンス 2. 保育における臨床心理学について 3. 知能について 4. 性格について 5. 心理検査について 6. 問題を検討することについて 7. 子どもの臨床ケース① 8. 子どもの臨床ケース② 9. 子どもの臨床ケース③ 10. 子どもの臨床ケース④ 11. 大人の臨床ケース① 12. 大人の臨床ケース② 13. 臨床場面の振り返り 14. 試験 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定しない 参考書……特に指定しない		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験等による総合評価		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	島村 恵子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康生活の基本である食生活について学ぶ。 2. 栄養バランスのとれた献立を理解し、作成できるよう学ぶ。 3. 子どもの成長と食生活の関係を理解する。 4. 子どもの成長に合わせた食生活を実習を通して理解する。 5. 食育の大切さを学び、食育のための環境について理解を深める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康と食生活について 2. 5大栄養素について 3. バランス献立の作成、栄養計算 4. 乳汁期栄養について、調乳実習 5. 離乳期栄養について 6. 離乳食調理の基本（時期別形状離乳食） 7. 離乳食実習（5、6ヵ月児、7、8ヵ月児） 8. 離乳食実習（9～11ヵ月児、12～18ヵ月児） 9. 幼児期栄養について 10. 幼児食の献立作成、栄養計算 11. 作成した献立での実習 12. 保育所給食での間食実習 13. 食育について 14. 食育用の媒体物作り 15. まとめ・試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版部 参考書 ……その時々参考になるものを紹介		
評 価 の 方 法	出席、レポート、実習態度、試験による総合評価		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	高尾 優
授業目標	<p>子どもの食と栄養で学んだことを基礎に、実際に献立の作成や調理を行い、子どもの食について実践する力を身につける。</p> <p>乳汁期から幼児期にかけて、食事の形態がどのように変化していくのか、どのように調理するかを具体的に学習する。</p> <p>幼児食実習を通して子どもにとってバランスの取れた食事とはどんな食事なのか理解する。</p> <p>近年増加している食物アレルギーの子どもへの対応について学ぶ。</p> <p>クッキング保育、食育媒体の作成を行い、食育を実践できる知識と技術を学ぶ。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの食と栄養 2. 保育所の食事、献立作成と栄養計算 3. 乳児期の栄養について 4. 調乳実習 5. 離乳食について 6. 離乳食実習（5～6か月、7～8か月） 7. 離乳食実習（9～11か月、12～18か月） 8. 幼児期の栄養について 9. 幼児食実習1（幼児期の食事） 10. 幼児食実習2（アレルギーがある子どもへの対応） 11. 食育について 12. クッキング保育計画（子どもと一緒に作る食事を考えよう） 13. 食育媒体作成 14. クッキング保育実習 15. まとめ、レポート提出 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の子どもの食生活と栄養』（学建書院） 『はじめての食品成分表』（女子栄養大学出版部） 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、テスト、提出物（レポート等）、授業態度を総合的に評価する。		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	山中 恵里香
授業目標	食と栄養に関する基礎知識を習得する。 子どもの発達段階におけるそれぞれの食生活の特色や課題を、演習をとおして理解する。 献立作成や調理実習、食育演習など保育の現場で実践できる能力を身につける。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康と食生活について 2. 栄養の基礎知識（5大栄養素） 3. 栄養の基礎知識（献立作成、調理の基本、食中毒） 4. 乳汁期の栄養と調乳実習（実習1） 5. 離乳期の栄養について 6. 離乳食実習（実習2） 7. 幼児期の栄養について 8. 幼児食の献立作成（演習） 9. 幼児食実習（実習3） 10. 食物アレルギーについて、アレルギー対応おやつレシピ作成（演習） 11. アレルギー対応おやつ実習（実習4） 12. 食育とクッキング保育について 13. 食育用の媒体作り（演習） 14. 食育媒体の発表 15. まとめ、試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『発育期の子どもの食生活と栄養』学建書院 『はじめての食品成分表』女子栄養大学出版部 参考書 ……そのときどきに参考になるものを紹介		
評 価 の 方 法	出席、レポート、実習態度、試験による総合評価		

科 目	保育あそび論	講 師	荒巻 シャケ
授業目標	目標1 保育にいかせる遊びの引き出しを増やす。 目標2 自分自身が遊びを楽しむ。 目標3 遊びを変化させたり、発展させる柔軟性を身に着ける。 目標4 お互いに学びあい、人によって遊びの視点や感じ方が違うことにも気づく。 目標5 様々な保育の考え方があることを知る。 目標6 面白い！苦手！など、遊びによって自分がどう感じるか		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. あそび歌①（実際にあそび歌で遊びながら楽しさを体験する） 2. あそび歌②（替え歌など創作して、発表する） 3. あそび歌③（言葉遊び歌） 4. 物遊び①（バンダナ使ってゲーム遊び） 5. 物遊び②（バンダナゲーム創作発表） 6. 物遊び③（新聞紙で遊んでみよう） 7. 物語創作（カタルタを使って遊んでみよう） 8. ゲーム遊び①（世界のカードゲーム3～5歳） 9. ゲーム遊び②（世界のカードゲーム5～8歳） 10. ゲストを予定（テーマ 子どもの遊びの世界） 11. 映像で見る（子どもの心に寄り添う、りんごの木の保育） 12. 絵本・遊びとは？①（赤ちゃん絵本を探ってみよう・グループのテーマ決め） 13. 遊びとは？①（グループごとに発表準備） 14. 遊びとは？②（グループごとに発表準備） 15. まとめ（遊びとは？のグループ発表をする） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……授業ごとに紹介します		
評 価 の 方 法	受講態度・出席・レポート・実演での総合評価		

科 目	絵画造形技法	講 師	高木 秀文
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の発達段階に見られる特徴的で独特な表現の形（なぐり描き、見立て、頭足人、ら列、展開表現）を模擬的に体験して、この時期の造形活動への理解と興味を深める。 ・ 一方、保育現場で応用の出来る実践的な制作課題を用意して各々の造形実習レベルを強化していく。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「ガイダンス」授業内容、評価、用具教材について。他、児童画鑑賞コメント。 2. 「児童の表現」幼児期の描画を模擬的に体験する。 3. 「児童の表現2」幼児期の描画を模擬的に体験する。 4. 「お話の絵」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 5. 「お話の絵2」むかし話を読み、その中の一場面を絵に描く。 6. 「児童の表現3」幼児期の描画を模擬的に体験する。 7. 「表現の類型復習」前半で行った幼児期の表現に関するテスト形式の復習。 8. 「表情表現の工夫」顔面にとどまらず身振りや動作で感情を絵画表現する。 9. 「貼り絵人形作り」性別、年齢、名付けをしてヒト型キャラクターを作る。 10. 「貼り絵人形作り2」複数の人形を作り情景や物語背景を考える。 11. 「各種表現技法」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 12. 「各種表現技法2」幼児期に適した絵の具やパス類を用いた技法を体験、理解する。 13. 「各種工作」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 14. 「各種工作2」主に紙粘土・色紙を使った工作を行う。 15. 「表現技法の理解」後半で行った表現技法に関するテスト形式の復習。 		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……『保育をひらく造形表現』萌文書林		
評価の 方 法	出席状況・テスト・受講態度による総合評価		

科 目	絵画造形技法	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の造形教育の背景について理解し、育みたい「資質・能力」を知り、幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を目標として、その指導方法を身につける。 ・ 現場で役に立つ実践的な課題を制作し、絵画造形の技法をより高めるように習得する。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児の造形教育のねらいと方法（教材、素材、生活環境・自然環境の活用などについて） 2. クレヨン・クレパスを使って：ぼかし・指擦り（ステンシル） 3. 絵の具の技法：いろいろな技法を使ってコラージュのための素材づくり 4. 制作した素材を使ってコラージュの制作 5. 鉛筆の使い方：削り方を学び、グラデーションの作成と基礎的な鉛筆デッサン 6. 画用紙を使って：Z折りにした画用紙を使って展開することによって変化のある楽しい絵の制作 7. 画用紙・色画用紙を使って：動く楽しいペーパークラフトの制作 8. いろいろな材料の造形：マープリングで模様をつけた紙を使って「魚釣りあそび」の造形 9. いろいろな材料の造形：自然物“木育”による「おももりづくり」 10. いろいろな材料の造形：ペットボトルを使って輪投げの的を制作、新聞紙を使って輪投げの輪を作る 11. いろいろな材料の造形：アルミ缶を使って「踊る人形」を作る 12. 光の世界：色画用紙とセロハン紙を使って「ステンドグラス」を作る 13. 技法から絵本へ：これまで学んだ技法を使って1枚の絵本を作ろう その1. 素材作り 14. 技法から絵本へ：その2. 色画用紙を使って絵巻に登場するキャラクターを作ろう 15. 技法から絵本へ：その3. 絵本の完成 		
教科書 及び 参考書	教科書……『幼児造形の基礎』萌文書林 参考書……特になし		
評価の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	保育表現技術・ピアノⅢ	講 師	音楽科担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（バイエル96番程度）。 ・童謡を楽しく弾き歌いできるようになる。 ・実習に向けて、生活の歌や童謡のレパートリーを増やす。 ・ピアノ練習を毎日の生活の中で確保できるよう努力する。 		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：各自のレベルの把握と課題の決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 …… 1年次に購入したもの 参考書 …… 『始めよう！弾き歌い』 及び担当講師の指定するもの		
評価の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・声楽	講 師	福田 由子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に、歌う楽しさを伝える事が出来るよう、子どもの歌、生活の歌を、一人で歌えるよう練習してゆきます。 ・正しいリズム、音程、伸びやかで無理のない声、メッセージが伝えられる、ことばづかい等を練習してゆきます。 ・ハーモニーを体験する事により、より豊かな表現が出来るよう練習致します。 		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ <p style="text-align: right;"> ↓ 子どもの歌、生活の歌の歌唱練習 毎時間2～3曲を暗譜してゆく。 ↓ 課題曲の発表と全体練習 自分で選んだ曲による、グループレッスン 中間実技テスト テストについてのコメントとアドバイス ↓ 子どもの歌、生活の歌の歌唱練習 ↓ 課題曲の発表と全体練習 自分で選んだ曲による、グループレッスン 期末テスト ↓ 合唱曲、輪唱曲の仕上げ </p>		
教科書 及び 参考書	教科書 …… 『ポケットいっぱいのおうた』 教育芸術社 参考書 …… 特に指定なし		
評価の 方 法	実技テスト、授業中の様子等の総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅱ	講 師	中西 和子・佐藤 博美・ 佐藤 めぐみ
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所実習Ⅰaを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。 ・ 保育所実習Ⅱに向けて、目的意識・問題意識を明らかにする。 ・ 保育所、保育士の役割について理解を深め、実践する。 ・ 保育教材の制作・発表を通じ、指導案を立案し実践し評価を行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習Ⅰを振り返る(1) 2. 保育所実習Ⅰを振り返る(2) 3. 実習課題の設定 4. 責任実習指導計画案の事例検討と立案 5. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(1) 6. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(2) 7. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(3) 8. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(4) 9. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(5) 10. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(6) 11. 模擬実践の相互評価・改善(1) 12. 模擬実践の相互評価・改善(2) 13. 責任実習指導計画案の作成(1) 14. 責任実習指導計画案の作成(2) 15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する 		
教科書 及び 参考書	教科書……なし 参考書……授業内で配布したプリントはまとめておくこと		
評価の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、提出物、発表等による総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。 ・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。 ・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方 2. 保育所実習・施設実習の振り返り① 3. 保育所実習・施設実習の振り返り② 4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化① 5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化② 6. 実習日誌の分析 7. 実習日誌の書き方 8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする 9. 施設実習における保育者の専門性を考える 10. 個別支援計画と指導計画の作成 11. 個人票の作成① 12. 個人票の作成② 13. 実習課題の作成① 14. 実習課題の作成② 15. 実習に向けてのまとめ、直前指導 		
教科書 及び 参考書	教科書……授業時に適宜プリントを配布 参考書……特に指定なし		
評価の 方 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	キャリアデザイン	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に向けて、基本的なスキルを身に着ける ・これまでの学びと実習経験から就職先（保育所、施設等）の絞り込みをする ・公務員試験対策を万全にする 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」 2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。 3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等） 4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等） 5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会） 6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究① 7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究② 8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③ 9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等） 10. 自己アピールワークシート作成 11. 個人面談・模擬面接① 12. 個人面談・模擬面接② 13. 個人面談・模擬面接③ 14. 個人面談・模擬面接④ 15. 個人面談・模擬面接⑤ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	クラスルームⅡ	講 師	阿久津 摂・今泉 良一 東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した学校生活を送る上で、必要な留意事項について理解する。 ・クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個別面談・グループワーク 3. 個別面談・グループワーク 4. 個別面談・グループワーク 5. 個別面談・グループワーク 6. 個別面談・グループワーク 7. チャイルド祭について 8. 振り返り・後期の学校生活に向けて 9. クラス活動 10. クラス活動 11. クラス活動 12. クラス活動 13. クラス活動 14. クラス活動 15. 振り返り・卒業後に向けて <p style="margin-left: 150px;">} 学校行事等の企画や準備・グループワーク</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況による評価		